

地 域 連 携

森田地区将来ビジョンを实践へと
～仁愛女子短期大学と共に～

福井市森田公民館 館長 吉 村 公 司

森田公民館を拠点に行っている森田地区のまちづくり事業としてあげられるのは、①森田夢駅 ②脇屋義助の学習と石丸城跡公園の整備 ③森田まつりでエコキャンドル ④サクラマスサミット 等である。そして平成25年度は、6年前に作成した「森田地区将来ビジョン」の見直しも行った。その全てに仁愛女子短期大学の先生方のご指導と、学生さんの協力を得ている。

以前からもそうであったけれど、平成22年に森田地区と仁愛短期大学との間で、お互いに連携していこうという協定が結ばれてから、更に緊密になってきた。大学からは、図書館を地元民に開放していただいているし、大学祭と森田地区文化祭を同時開催して、バスで双方を結んで交流もしている。

平成24年11月14日、森田公民館は、文部科学大臣から優良公民館として表彰を受けている。この時の評価の中に、森田地区将来ビジョンというしっかりとしたビジョンを持ち、それに基づいて着実にまちづくりが行われていることがあげられていた。このビジョンは、2007年に内山教授のご指導のもとで、地区民のべ200人くらいが3回にわたるワークショップを経て作成されたものであった。しかし6年を経過して、周囲の状況等の変化で見直しが必要に

なってきたので、やはり内山教授と学生さんたちの協力を得て、今年度、森田地区将来ビジョンPartⅡを作成した。

平成25年 8月28日 第1回ワークショップ

2007年版の将来ビジョンを見直し、課題を洗い出す。

9月25日 第2回ワークショップ

これまでのテーマ+新規テーマを経て、計画案を作る。

11月6日 第3回ワークショップ

テーマに沿った計画案を、緊急性・重要性・実現性の点から絞り込む。

のべ153人の参加を得て完成した。

平成26年3月15日、福井市自治会館において、市からの要請で森田地区のまちづくり事業の成果発表を、森田地区文化委員の代表が行ったあと、助言者の人から「このようなしっかりしたビジョンを策定し、今日発表されたようなまちづくり事業を行っているところはなかなか見当たらない。地元の大学と、こんなに素晴らしい連携の中でまちづくりが行われているのは、なんと素晴らしいことか」とコメントをいただいた。

この良好な関係を、今後も続けていきたいと願っている。

